武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和８年度５月号
統括校長　飯星　健司
令和８年５月１日

【教育目標】　**人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子**

温かい雰囲気の中でスタート

統括校長　飯星 健司

４月８日（水）に第１７回の入学式が行われました。新１年生５１名、新７年生（Ｓ、Ｅ組含）が６４名、合計１１５名の児童・生徒が入学し、１年生から９年生まで全校児童・生徒が揃いました。前日の進級式の後、在校生が準備をしてくれました。（在校生の皆さん、ありがとうございました。）

本校の特色である小中一貫での入学式は、新１年生の可愛らしさと新７年生の凛々しさが一緒になり、とても温かみのある儀式となりました。

また、４月１０日（金）の６時間目に「７年生歓迎会」を行いました。こちらは生徒会が中心となり、委員会のことを説明したり、部活動のことを紹介したりしました。７年生はとても興味深く聞いていました。

小学部では、４月１７日（金）の２時間目に「１年生を迎える会」を行いました。６年生のお兄さん、お姉さんと手をつないでの入場は微笑ましいものでした。入場後は、１年生が一人一人自己紹介をしたり、クイズを行ったりと楽しい雰囲気の中で会が進みました。最後は、１年生から６年生まで朝礼隊形で並び直し、学園歌を歌いました。

小学部も中学部もとても温かい雰囲気の中でスタートが切れていると感じました。この雰囲気は、保護者会で感じたものと同じだなと思いました。

村山学園の保護者の皆様の優しさや温かさがこのような雰囲気をつくり出しているのだと感じました。

これからも本校の教育活動への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

入学式　職員紹介

７年生歓迎会

１年生を迎える会

※※※

「千里の道も一歩から」

この言葉は、中国の思想家「老子」の言葉が由来で、意味はどんなに大きな目標や課題でも、まずは最初の一歩を踏み出すことが大切であることを意味する言葉です。つまり、遠い道のりも最初の一歩から始まるように、大きな目標も、手近なところから着実に始めていくことが重要だという意味です。

児童・生徒の皆さん、夢や目標をもつことから始めましょう。そして、夢や目標をもったら、それを実現させるために一歩を踏み出してみましょう。

先生たちはいつでも皆さんを応援しています！

※※※